

TAKAHASHI SUISHU

FUJIMOTO AKIKO

SATZ

ZENYOJI KEISUKE

TSURUZAWA TSUGAJU

ザッツ 第2回公演



胡弓
高橋翠秋



歌・三弦・箏
藤本昭子



太棹三味線
鶴澤津賀寿
(人間国宝)



尺八
善養寺恵介

SATZのテーマ [作曲: SATZ]

●演奏 SATZ

幾山河越えさり行かば 影法師

[作詞: 橘万丸 / 作曲: 幾山検校・北村文 / 補作・胡弓手付: 高橋翠秋]

●歌・三弦 藤本昭子 ●胡弓 高橋翠秋

恋女房染分手綱 重の井子別れの段

[作: 吉田冠子・三好松洛]

●浄瑠璃 竹本駒之助 (人間国宝) ●三味線 鶴澤津賀寿 (人間国宝)

梅松桜 三つ子の憂鬱

[作曲: 鶴澤津賀寿]

●太棹三味線 鶴澤津賀寿 ●尺八 善養寺恵介

SATZ千鳥の曲 「古今和歌集」「金葉和歌集」より

[作曲: 吉沢検校 / 編曲: SATZ]

●演奏 SATZ



ゲスト: 浄瑠璃
竹本駒之助
(人間国宝)

2022.

12.29 (木) 16時30分開演 [15時45分開場]

紀尾井小ホール

- 入場料 (全指定席・完全予約限定): 一般 5,000円、学生 3,000円
- チケットお問合せ・お申し込み: 藤本昭子の会 (メール、またはFAX)
mail: akikof@tc4.so-net.ne.jp / fax: 03-3716-2110

●主催: 藤本昭子の会 ●後援: 公益財団法人日本伝統文化振興財団 ●文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業

ARTS for the future! 2

SATZ

ザッツ 第2回公演



SATZ第1回公演(2019年7月5日 築地本願寺講堂)

クラシック音楽用語の「アインザッツ=ein satz」はフレーズの出のタイミングを揃えることを意味します。またドイツ語のsatzには、「楽章」「定理」「跳躍」の意があります。

胡弓、地歌、義太夫三味線、尺八という、まったく異なる古典音楽ジャンルで近年目覚ましい活動を重ねる4人の邦楽演奏家が、それぞれの古典伝承に確かに立脚した「新たな邦楽創造」への踏み出しを意図して2019年に結成された「SATZ」は、この言葉が示す意味とともに、4人のイニシャル「S=翠秋、A=昭子、T=津賀寿、Z=善養寺」から名付けられました。幾世紀もの歳月を超えて、ひとすじの細い糸のように途切れることなく培われ、育まれ、熟成されてきた古典音楽の、聴く者の心を捉えて離さない、繊細で、多彩で、豊かな表現をSATZは皆様にお届けします。



高橋 翠秋 (たかはし すいしゅう) [胡弓]

1962年生田流箏曲家元、川瀬白秋に入門。68年師範免状取得、高橋翠秋の名を許され、師と共に歌舞伎黒御簾、舞踊界、三曲界で演奏活動を行い現在に至る。93年国立劇場主催公演「明日をになう舞踊、邦楽鑑賞会」に出演。94年より「新・日本音楽抄」に創作を発表。98年初リサイタル「高橋翠秋 胡弓の契」開催(以後毎年開催)。2010年文化庁芸術祭優秀賞受賞。13年第2回中島勝祐創作賞受賞。17年CDアルバム「胡弓の葉一月詠抄」が文化庁芸術祭優秀賞受賞。18年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。カンヌ音楽祭など海外公演も多数行っている。現在、日本芸術文化振興会歌舞伎音楽(竹本)研修講師、(公社)日本三曲協会会員、「四季の会」副会長、荒川邦楽連盟理事。作曲作品に「櫻姫」(第2回中島勝祐創作賞)、「雪月花」「舞姫」「ひな流し」「幻」「ひなの宵」のほか、舞踊曲、胡弓練習曲・小曲等多数。



藤本 昭子 (ふじもと あきこ) [歌・三弦・箏]

九州系地歌箏曲演奏家。祖母阿部桂子、母藤井久仁江(人間国宝)に箏・三弦を師事。1995年第1回リサイタル開催(全17回開催)。2001年「地歌ライブ」開始(全100回開催)。03年日本伝統文化振興財団賞受賞。08年全英語解説による「JIUTA」公演開始(全6回開催)。伝統文化ポータル賞奨励賞受賞。20年邦楽ジャーナル誌「地歌のいろは」連載。YouTubeチャンネル開設(全101本公開中)。長谷幸輝検校遺愛の三弦を初披露演奏。「藤本昭子の会」設立。21年紫綬褒章受章。文化庁芸術選奨文部科学大臣賞、松尾芸能賞優秀賞、文化庁芸術祭音楽部門大賞受賞。21年、22年CD「雪墨」「地歌のいろは」がレコード部門大賞を連続受賞。22年新シリーズ公演「伝承の力 古典の現在」を開始。現在、(公財)日本伝統文化振興財団理事。(公社)日本三曲協会、箏曲女流協会会員。正派音楽院講師。「藤本昭子の会」代表。



鶴澤 津賀寿 (つるざわ つがじゅ) [太棹三味線/人間国宝]

1984年竹本駒之助に入門。三味線を四代目野澤錦糸に師事。86年駒之助の義母鶴澤三生の幼名津賀寿を継ぎ初舞台。鶴澤重輝の預かり弟子となる。90年国立劇場主催「明日をになう新進の舞踊、邦楽鑑賞会」出演。91年芸団協助成新人奨励賞受賞。花組芝居「怪誕身毒丸」出演。93年豊澤仙廣賞、96年第47回芸術選奨文部大臣賞新人賞、97年第11回清栄会奨励賞、2000年第4回ビクター伝統文化振興財団賞受賞。09年重要無形文化財「義太夫節」総合指定保持者認定。国立劇場養成課竹本研修講師。13年義太夫協会理事就任。16年、自身初主催公演「津賀寿の会」を開催。22年ENEOS音楽賞受賞、重要無形文化財「義太夫節三味線」個人指定保持者認定(人間国宝)。



善養寺 恵介 (ぜんようじ けいすけ) [尺八]

6歳より、虚無僧尺八の手ほどきをうける。東京藝術大学邦楽科卒業、同大学院修士課程修了。在学中は山口五郎師(人間国宝)に師事。1999年第1回リサイタルを開催以来、現在に至るまで14回を重ね、2017年文化庁芸術祭音楽部門大賞受賞。2000年尺八教則本「はじめての尺八」(音楽之友社刊)執筆。02年日本伝統文化振興財団賞受賞。同年世界宗教者国際会議(於カンタベリー大聖堂)にて招待演奏。18年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。20年紫綬褒章受章。東京藝術大学および有明教育芸能短期大学の非常勤講師を経て、古典を中心とした演奏活動のほか、関東各地にて尺八普及のための尺八教授活動を行っている。
【公式web site】<http://zenyoji.jp/>

鶴澤津賀寿、ENEOS音楽賞「邦楽部門」受賞、人間国宝認定を祝して——
このめでたいニュースを受け、SATZメンバーが結集！
津賀寿の師匠であり、人間国宝の竹本駒之助さんをゲストにお迎えし、三年ぶり、二回目の演奏会を開催します。
令和四年の最後を締めくくる珠玉の演奏会を開催します。
心ゆくまでお楽しみください。



Special guest

竹本 駒之助

(たけもと こまのすけ)
[浄瑠璃/人間国宝]

1949年竹本春駒に入門、竹本駒之助を名乗る。以後、十代目豊竹若大夫、八代目竹本綱大夫らに師事。53年豊竹つばめ大夫(のちの四代目竹本越路大夫)に師事、70年門人となる。96年度第26回モービル音楽賞受賞。99年重要無形文化財「義太夫節浄瑠璃」個人指定保持者認定(人間国宝)。2003年紫綬褒章、08年旭日小綬章受章。CD「人間国宝 女流義太夫 竹本駒之助の世界」が09年度第64回文化庁芸術祭レコード部門優秀賞(日本伝統文化振興財団受賞)、12年神奈川文化賞、15年KAAT竹本駒之助公演第5弾「鎌倉三代記」ハツ目切三浦別の段が第70回文化庁芸術祭音楽部門大賞受賞。17年文化功労者選出。社団法人義太夫節保存会会長。

*感染症拡大防止にご協力をお願いいたします。